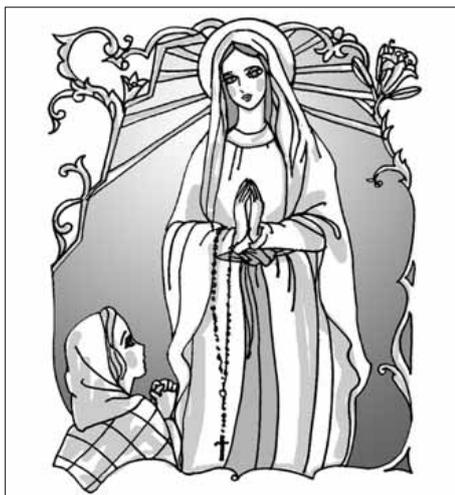


# 雷の子

カトリック町田教会  
町田市中町 3-2-1  
電話 042-722-4504  
FAX 042-722-4512

## いかずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



聖母マリアは、1858年2月11日から4月7日まで18回フランスのルルドで、少女ベルナデッタに御出現。「私は、無原罪の御宿りです」罪人のために祈りなさい」と言われた。

## 四旬節のこと

助任司祭 天本 昭 好

今年三月二十三日が復活祭なので、二月六日が灰の水曜日にあたりました。例年よりすこし早めに四旬節がはじまりました。そこで四旬節について、すこし教科書的な説明をしたいと思います。

教会は、灰の水曜日からはじまって聖木曜日に行われる主の晩餐のミサの直前までを四旬節として定めています。『典

礼暦年に関する一般原則および一般ローマ暦』28参照。文字通りには四つの旬(十日間を意味する)なので四十日間ですが、この典礼季節は、正確には四十六日間です。日曜日は八日目毎に復活の秘義を祝う主の日なので、それをカウントしないためにこのようになすれが生まれてしまいます。なぜ四十日間かと言えば、ヨルダン川で洗礼を受けられたイエス様が、荒野で四十

日間の誘惑を経験されたことに由来しています。そしてこの四旬節という季節の性格を、第二ヴァチカン公会議で最初に出された公文書である典礼憲章によって見ていくと次のように記されています。

「四旬節の次の二つの性格を典礼そのものにおいて、典礼的教話においても、もっと明らかにしなくてはならない。すなわち、特に洗礼の記念または準備と、償いととの二つによって、信者が神のことはより熱心に聞き、また祈りに励むようにして復活秘義を祝う準備をさせるのである」

『典礼憲章』109参照) 言うまでもなく、四旬節が洗礼というキーワードと結びついた季節であることがわかります。それはミサの福音の朗読箇所からも理解されるところです。

四旬節第1主日はイエスの荒野での誘惑、第2主日は主の変容の箇所がA年(マタイ)、B年(マルコ)、C年(ルカ)、それぞれの福音書の該当箇所から読まれていきます。それに続く第3主日から第5主日は三年周期の朗読配分毎に箇所が違います。今年A年にあたりますが、その朗読箇所は伝統的に洗礼を非常に意識した箇所になっていると言われています。まず第

3主日がヤコブの井戸で出会ったサマリア人の女の話(ヨハネ四章)、第4主日がシロアムの池での生まれつき目の見えない人のいやし(ヨハネ九章)、第5主日がラザロの死(ヨハネ十一章)が語られています。これらの福音の箇所はそれぞれに第3主日は水のしるし、第4主日が光のしるし、第5主日が復活のしるしというように洗礼に関連づけられて理解され解釈されています。

ヨルダン川で洗礼を受けられたイエスがどのような道を歩み、その過程のなかでどのような人間と出会っていき、どのように人間が導かれていったのかを語るのが福音です。信仰は聞くことから始まり、呼びかけられていく神のことに耳を澄まして聞く私という人間が、その神のことに応えていく関係のなかで、自らの洗礼という出来事を捉えていくことがもたらされていくように思います。

四旬節というと、なにか祈りと節制というキーワードだけで語ってしまいがちになり、その本来もっている意味合いよりも、自らの内面を見つめて、償いによって清められていくことだけに意識がいってしまい、満足してしまうこと

はないでしょうか。それでは自分さえよければいいというような発想にさえなりかねません。これらの福音のなかで語られていくイエスと出会っていった人たちは、社会の中でとても小さく生きていった人たちです。自分の力ではどうすることもできない現実を生きなればならない人たちでした。その人たちのもとに現れたイエスによって変えられていく。それは自分の内面に由来するのではなく、外からの力として神の業がイエスを通して働いたからです。福音には人間の努力の成果などは描かれていません。いつも説教でおなじようなことばかり言ってしまうですが、やはり神のことはよってわたしたちが変えられていくことから出発していったとき、わたしたちの心の動きは内面だけをループして終わってしまう動きではなく、外へと積極的に向かう動きになっていくのではないのでしょうか。

その外へと向かう動きは、人それぞれの社会の役割のなかで表現されていくのでしよう。このことを一言であらわすなら愛という言葉になっていくのでしようし、福音を告げていくという決まり文句もここに重なっていくのではないのでしょうか。

私と教会

・アメリカの教会で、運営委員会議長 三須伸一郎

一九九六年三月にカリフォルニア州サンノゼに赴任し、車の購入、運転免許取得、家探しが終わって、気がつくとも電話帳で教会を探してしました。近所に見つけた教会の神父「J. J.」は明るい人で、ミサ後に挨拶すると「よく来たな」といきなり Hug され歓迎されました。聖堂の十字架にキリスト像はついておらず、聖歌は明るい曲が多いのが印象的でした。洗礼もヨルダン川に浸かる本来の方法を少しでも踏襲しようとしているのか浴槽のようなものの中に全身を浸らせます。気候が一年中春のような暖かさなので可能なかもしれませんが、驚きでしたな。

イースターにはお菓子を入れたプラスチック製卵を近くの公園に隠して、子供達に探させる Egg Hunting はとても人気でした。

ミサ後の日曜学校は、各学年毎に分かれて信徒が先生をします。教材が楽しく分かりやすかったのが印象的でした。日曜学校で子供が知り合った友達を通して知り合ったドイツ系アメリカ人「Jeff」Dona との交流は忘れられない思い出

す。日曜学校が終わると、教会に付属する学校の校庭や近くの公園で「Sabbath School」という二人のお嬢さんとうちの娘達と皆で遊びました。クリスマスにはツリーファームへ行き、気に入ったツリーと一緒に探し編で切って家に持ち帰りしました。モミの木の香しい匂いをクリスマスシーズンに家の中で味わえたのは、後にも先にもこの時だけです。

デイズニールランドへ車で八時間かけて一緒にいったのも疲れましたが良い思い出です。東京デイズニールランドと違ってパレードに出てくる王子様やお姫様がアジア系の人だったのは驚きました。広さも少し狭い感じがしましたな。

ベイエリアの日本人信徒の集まりにも参加しました。一ヶ月に一回サンタクララ教会でイエズス会櫻井神父様のミサと茶話会があるのですが、色々な経緯で米国移住して来た方々のお話を聞いたことは大きなお恵みでした。米国に長期在住していると日本語のミサが恋しくなり、日本語で分かち合いがしたくなるようでした。この会を紹介して下さった日本人「Mimi」さんは当時末期ガンでしたが、医師であるにもかかわらず抗癌剤も使わず自然治癒を選択してしました。色々助けて下さった

した。色々助けて下さった

一人でも多くの子どもたちの支援のため!

# イラスト ESA友の会IN町田 (アジア教育支援の会)

毎月第2日曜の第2ミサ後カレーパンを販売(150円)します!

チャイ(ミルク) 100円もどうぞ

カレーパン

カレーはメンバーが自宅で作る

朝ベロニカ苑から届いたパンにカレーとサラダ菜をほさせ

勉強会や講演に参加して支援を呼びかける

1か月2000円の犠牲で施設で安全に暮らせる! (1870円の節約で)

日本の子どもに伝えたい!

支援し気付いたこと、学ぶ喜び、生きる幸せ、当たり前の日々に感謝する心

もっと頻りに訪問してコーディネーター、コワーカをねざらい励まし合えばお互いの信頼喜び力がアップ!

施設に引きとられない多くの子どもが皆さんを待っています!

「ずっと愛ごころで、おきたいの」と言っ、管区長からプレゼント

会員ESAの活動理念や運営、日本社会の情報をもっと提供しなくては!

ダージリンを訪問して!

IT 発展の陰の貧しい村

その上で遊ぶ

生活レベルは低い! 日雇いの労働

女性の日当は 45ルピー (135円)

食事は昼は与えられない

悪に走る

教育にのめられない子は

一日中働いても 80ルピー (240円)

貧しくて教育を受けないとゆけもゆからず、書類にサインさせられて財産、本取り、名誉を失う

世界平和

希望

教育

貧困、差別から人間としての尊厳を守り、困難を克服する大きな力!

教育支援

南インドの2人のコワーカの講演会から

PEACE

自立

地域発展に貢献!

教育

未来

みんながめくれない子供たちを救いましょう!

メンバーは 17名 代表の水野さん

ESA

皆さんが、今も天から微笑みかけて下さっているような気がします。

### 町田教会の

#### 五十年を振り返り

記念誌編集委員会 安藤 康弘

町田教会は、今年の9月で献堂五十周年を迎えます。

この機会に、これまでの町田教会の歩みを振り返るために記念誌が発行されることになりました。そして、運営委員会からの呼びかけに応じて集まった数人で、一昨年の春から記念誌編集委員会が持たれるようになりまし。当初は五里霧中と言った感じでしたが、幸いにも数多くの温かく力強い協力を得て、この年明けには記念誌の大体のイメージが出来上がるところまで漕ぎ着けました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。記念誌を編纂するにあたり、委員全員でいくつかの共通認識を持ちました。その一つは、町田教会は、司祭と協力しながら、信徒が作りあげてきた教会であることを大切にすることです。多くの名もない信徒が教会の歴史を担って来ました。ですから、この記念誌は、できるだけ個人名を出さないように心掛けました。司祭と共に信徒たちが作りあげてきたこの教会の五

十年を味わうことのできる記念誌となるように、どうぞ皆様もお祈りいただきたいと存じます。

#### クリスマスお泊り会

リーダー 島田 和人

今年も12月15日、16日にかけて、子供たちのためのクリスマスお泊り会を実施した。毎年恒例だが、やはりメインイベントはケーキ作りとゲーム大会。

まずはケーキ作り。最初は生クリームを泡立てる。子供たちの提案により、一工夫した生クリームが完成した。次にスポンジにクリームを塗る。側面に塗るのが特に難しい。最後は飾り付け。小さく切った果物をバランスよくのせ、いちこの数を合わせて出来上がり！自分たちで作ったケーキは格別の味であったようだ。そしてゲーム大会。なんでもバスケット」と「何を言っているのかを当てるゲーム」をおこなった。「何でもバスケット」では壮絶な椅子の取り合いが繰り広げられた。「何を言っているのかを当てるゲーム」は、口の動きに合わせて音を出し、その名の通り、何を言っているのか当てるゲームだ。簡単ではないが、皆で盛り上がる事ができる。

他にもプレゼント交換等がおこなわれ楽しい時間を過ごすことができ、子供たちもリーダーたちもともに楽しめたクリスマスお泊り会でした。

小一 かみやま せいや

ぼくは、はじめてクリスマスおとまりかいにいつて、とてもたのしかったです。きょうかいにとまるのは、はじめてだったけどだいじょうぶだったよ。ねぶくろでねるのもはじめてだけど、こわいはずをみんなでしながらねたら、せなかがいたかつたけど、おもしろかつたです。

そして、クリスマスケーキ

をつくるのもたのしかったです。クリームをあわだてるときに、クリームがいつぱいできて、びっくりしたよ。できたケーキはおいしかったです。またきょうかいにとまるのをたのしみにしています。らいねんの、クリスマスおとまりかいがたのしみです。

小三 小林 杏乃

町田教会にうつつてから始めてのクリスマスおとまり会を私はとても楽しみにしていました。

土曜日の午後、教会に集合してから、部屋をかざりつけたり、はんに分かれてケーキ

## ワンポイント聖書



(166)

前島 誠

「兄たちはお煎ヨセフに悪いことをしたが、どうか兄たちの咎と罪を赦してやってほしい」 創世記50章17

このせりふはヤコブの死後、兄たちが父の遺言として弟ヨセフに伝えたものでした。弟の仕返しを恐れたからだに聖書にあります。実際の遺言(同49章)には含まれていないので、兄たちの創作がもしれません。

さて聖書では「罪」に当たる用語が三つあります。今回はそれを説明しましょう。

(1)ハッター(的外れ) 何かをし損なうこと。原意は弓的を外すこと。そのつもりがなくとも、結果として外すこと。使用回数最多、ごく普通の表現。

このせりふはヤコブの死後、兄たちが父の遺言として弟ヨセフに伝えたものでした。弟の仕返しを恐れたからだに聖書にあります。実際の遺言(同49章)には含まれていないので、兄たちの創作がもしれません。

(2)アウオン(不正) 社会的な逸脱、集団内でのルール違反をいう。(1)に比べてはるかに意志的、しばしば制裁を伴なう。

(3)ベシャー(反抗) (2)よりもさらに強い意志で神に背くことをいう。

以上でおわかりのように、聖書の民は罪を観念的ではなく、どちらかというとい体的な行為の事実によって判断しました。

また、なすべきことを怠った、その事実に基づいて罪と判定したのでした。

四旬節は悔い改めの季節です。罪の究明の時、何を告解したらよいか困る方も居られます。その場合は「なすべきことを怠った」、この点での究明がお勧めです。

(注)引用の「咎」は(2)、「罪」は(1)



2008年度の主要年間行事予定

1月1日(火)	新年のミサ
1月13日(日)	成人の祝い・新年会
2月6日(水)	灰の水曜日
3月8日(土)	黙想会・ゆるしの秘蹟
3月9日(日)	黙想会・ゆるしの秘蹟
3月16日(日)	信者総会
3月20日(木)	聖木曜日(主の晩餐)
3月21日(金)	聖金曜日(主の受難)
3月22日(土)	復活徹夜祭
3月23日(日)	復活の主日・お祝い
5月25日(日)	初聖体
8月15日(金)	聖母被昇天祭・納涼祭(夕方)
未定	教会学校夏期キャンプ
未定	教会バザー
9月28日(日)	創立50周年記念ミサ
11月1日(土)	諸聖人・府中墓地共同墓参
11月2日(日)	死者の日・教会合同追悼ミサ
11月9日(日)	七五三祝福
11月下旬~12月上旬	大掃除
12月6日(土)	ゆるしの秘蹟
12月7日(日)	ゆるしの秘蹟
12月24日(水)	クリスマスミサ
12月25日(木)	クリスマスミサ

を作ったりしました。またタ  
方のミサの後には、みんなで  
ゲームをしたり、プレゼント  
交かんもしました。  
私が一番楽しかったのはケ  
ーキ作りです。お母さんと作  
る時とはちがって、お友だち  
と相談したり、きょう力しな  
がら作るのが楽しかったから  
です。おいしくてきれいなケ  
ーキが出来ました。  
お母さんたちが作って下さ  
った食事もとてもおいしかっ  
たし、みんなでねるのもワク  
ワクしたので、朝になって家  
に帰るのがとても悲しく思い  
ましたが、とても良い思い出  
になりました。

新着DVDと図書紹介  
図書係  
DVD「愛の鉄道」  
監督 千葉茂樹  
先の戦争中、泰面鉄道建設  
のために多くのオーストラリ  
ア兵捕虜が命を落としました。  
戦後、同国の反日感情は高か  
ったが、捕虜であった従軍司  
祭が日本を赦そうと計画を立  
てました。彼に賛同したトニ  
ーグリーン神父の日裏和解と友好  
の生涯を、市民の立場からと  
らえたドキュメンタリー映画  
前半は観るのに辛いが、後半  
の両国の関係修復の場面は感  
動を呼ぶ。

「聖書の世界 使徒行伝」  
ミルトス編集部  
イエスのもたらした救いの  
告知が弟子たちによってエル  
サレムから地中海沿岸東部、  
ギリシヤ、ローマに伝わりま  
した。これはその伝道の旅路  
を辿った写真集。壮麗な神殿  
に崇められている既存の神々  
を否定して主の愛を論証して  
いったパウロ、ペトロの信仰  
と苦難が偲ばれ、この旅を導  
いた神の意思を感じます。聖  
書理解の助けとなる一冊です。  
「奇跡は自分で起こす  
幸せになる一ミリの法則」  
鈴木秀子(海竜社)  
著者は元気になれる方法を  
わかりやすく示しています。  
「神様は私達を愛している」  
という確信から綴られた文章  
は力強く前向きで、失意の時  
にこそ読む価値のある本です。  
(以上 井上淑子)

詩集「道を 小道を」  
伊藤悠子(ふらんす堂)  
詩集は読書の清涼剤。イタ  
リア文学に親しんだ著者は町  
田教会所屬。水彩画を思わせ  
る情景のなかで、優しいこと  
ばの数々が紡がれてゆく。  
「バチカン」  
ローマ法王庁は、いま  
郷 富佐子  
ローマ在住4年。ヨハネ・  
パウロ二世からベネディクト  
十六世への代替りを取材した  
支局長のヴァチカンレポート。  
教皇選挙の経緯と内幕、教皇  
の日常からヴァチカン内部の  
案内、世界の国々との外交や  
カトリック教会の今後の方向  
にまで及んでいる。イタリア  
の生活の中での信仰のありか  
たや、エグジシストの講義に  
ついてなど興味深いテーマも。  
(以上 横塚千枝子)

犠 牲 献 金  
中高生会

12月2日	17,377円
「make a wish」へ	
1月6日	18,508円
「ベロニカ苑」へ	

「雷の子」次号編集会議予定  
4月6日(日)09時30分  
於会議室

信 者 動 静

2007年11月～2008年1月  
(個人情報のため、削除しています)